

平成 23 年度 事務事業の見直しに関する調書

事務事業名	あきる野映画祭実行委員会運営支援事業				担当課	商工観光課	担当課長	—						
政策名	総合計	市民の暮らしをリードする産業都市をめざして			担当係	観光推進係	担当者	—						
施策名	画	地域特性を活かした観光の振興			法令根拠									
基本事業名	体系	PR活動の推進			事業期間	平成	年度から開始							
予算科目	会計	款	項	目	事業	観光推進事業経費	担当人数	3 人						
	0	1	0	7	0	1	0	4						
				0	6									
1 事業開始の経緯														
1984年、合併前の五日市町において、「映画館のない町に映画文化を」ということで、夏の観光客が多く訪れる時期に五日市の名前を広くPRするために始まった。その後、平成15年の第19回から会場を秋川キララホールに移し現在に至っている。														
2 事業概要														
毎年7月下旬、秋川キララホールを主会場とし各種映画の上映を行っている。16mm作品や無声映画を上映し、さらに映画監督や上映作品の出演者などをゲストに向かえ、トークショーも行っている。また、前週の土曜日には、五日市まほろばホールにて、市内在住者や勤者の作品やあきる野市内を舞台とした作品の上映(映像市)を行っている。														
3 事務事業を取り巻く環境(対象者や根拠法令等)の変化等														
平成14年の18回までは五日市会館において実施されており、それまでは実行委員による手づくりの映画祭として市内外の多くの人たちに親しまれてきたが、昨今は客層もシニア層が多く、特定の人に限定されている感がある。														
4 市民、議会、事業者、利害関係者等からの意見・要望等														
五日市地区の人たちから、五日市地区での開催の要望がある。また、映画「五日市物語」の完成を契機に、あきる野映画祭の存在を広くPRする必要があるとの意見もある。														
5 22年度の実績及び23年度の改革改善内容														
東日本大震災による計画停電の実施が懸念されたことから、映像市を中止し、秋川キララホールでの開催期間も4日間から2日間に短縮した。														
6 事務事業の方向性(改革改善に係る担当課への指示等)														
効率的な運営の検討														
7 事務局からの提案														
有効性の観点から、事業費及び人件費がかからない方策を検討する。														
8 提案理由														
「映画館のない町に映画文化を」という所期の目的は達成したと考える。														
9 提案に対する担当課の取組														
<input type="checkbox"/> 提案のとおり取り組む <input type="checkbox"/> 提案のように取り組めない(10へ) <input checked="" type="checkbox"/> 提案とは違う改革改善に取り組む(11へ)					事業に係る予算額 <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr> <td style="border: 1px dashed black; padding: 5px;">平成23年度</td> <td style="padding: 0 10px;">→</td> <td style="border: 1px dashed black; padding: 5px;">平成24年度</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">千円</td> <td style="text-align: center;">⇒</td> <td style="text-align: center;">千円</td> </tr> </table>				平成23年度	→	平成24年度	千円	⇒	千円
平成23年度	→	平成24年度												
千円	⇒	千円												
10 提案のように取り組めない理由														
11 提案とは違う改革改善の内容(取組内容とその効果・予算額等)														
映画「五日市物語」の完成を契機に、あきる野映画祭の存在を広く市外にPRできるチャンスと考えている。例えば、秋川キララホールで行われる4日間のうち、1日を、全国の地域のすばらしさを多くの人に伝えることができる地域自作の映画を集め上映し、全国の各地域(地元)のよさ伝える場を提供することによって、映画祭が全国の多くの人から注目を集めることができる。こうした企画によって、映画「五日市物語」を契機にあきる野ブランドとして全国に情報発信することで、多くの人を呼び寄せることが期待でき、地域活性化につなげていきたいと考えている。														
12 総合判定(ヒヤリング後に事務局が記入)														
【今後の方向性】 <input type="checkbox"/> 事業を廃止する <input type="checkbox"/> 規模を縮小して継続する <input type="checkbox"/> 事業を一定期間休止する <input type="checkbox"/> 他の事業と統合する <input type="checkbox"/> 事業を民間に委託する <input checked="" type="checkbox"/> 事務処理方法等を改善する <input type="checkbox"/> 現状維持のまま継続する			【見直しに関するまとめ】 所期の目的は達成した事業であるが、映画「五日市物語」の完成を契機に、今後は、あきる野映画祭を活用して地域の活性化を図ることを目的とする。 映画祭を全国に情報発信する取組や映画「五日市物語」を活用して「東京のふるさと」あきる野市をPRするため、あきる野映画祭を運営している実行委員会を引き続き支援していく。											